1/22(金)

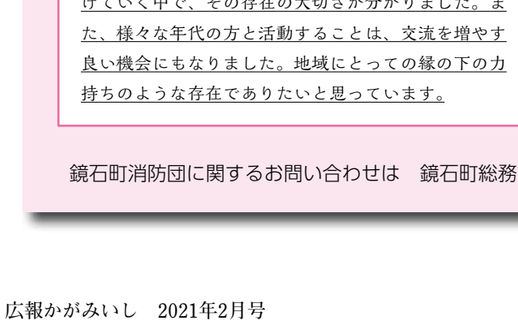
遠藤町長に目録を手渡す熊谷支店長（左）

NTTドコモが町に寄付金
東町公園に遊具など整備

NTTドコモが東日本大震災後の平成24年から実施している「NTTドコモグループ東北応援社員募金自治体寄付」の寄付金贈呈先に鏡石町が選ばれ、東町公園への遊具整備などに役立ててほしいと311万円が寄せられました。

贈呈式は町役場で行われ、ドコモＣＳ東北福島支店の熊谷謙支店長から遠藤栄作町長に目録が手渡されました。熊谷支店長は「今回の寄付で設置された遊具が、東町地域のコミュニティ活性化に少しでもつながれば」と話し、遠藤町長は「遊具を大切に使用し、地域で愛される公園として管理運営をしていきたい」と感謝の言葉を述べました。

東町公園の周辺は区画整理による宅地の造成が行われ、若い子育て世代を中心にここ２～３年で120世帯以上増加しています。地域からの要望もあり、町では子どもの遊び場、親子のふれあい促進に加え、地域住民の交流・防災活動など、地域活動とコミュニティ形成の場として令和２年に新たに公園を整備しました。今回の寄付金を活用して遊具３基、ベンチ２基、車止６基を整備し、今後ますますの利用促進が期待されます。

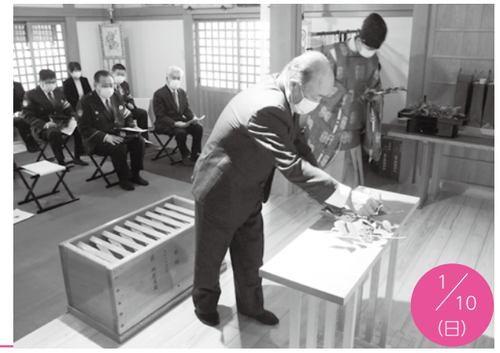


寄付金を活用して整備した複合遊具

町交通安全協会などが安全祈願祭
事故のない明るい一年に

町交通安全祈願祭が鏡石鹿嶋神社で行われ、町や町議会、須賀川警察署、各交通関係団体などから16名が出席しました。

神事では各団体の代表者が玉串を捧げ、町交通安全協会の橋本隆夫会長が「交通事故のない町を目指して、交通安全母の会と協力し合い、なお一層の啓発活動に取り組んでいきたい」とあいさつしました。


1/10(日)

玉串を捧げる橋本会長

町消防団が無火災祈願祭・訓示式
一致団結し災害対応を

鏡石町消防団（稲田幸吉団長）は鏡石鹿嶋神社で無火災祈願祭・年頭訓示式を行い、出席者が今年一年の無火災に向けて誓いを新たにしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている出初式は開催せず、消防団本部員、各分団長らに出席者を限定して行いました。稲田団長は「複雑多様化する災害に一致団結して対応していきたい」と話しました。

1/4(月)

無火災への誓いを新たにした祈願祭

長年の消防団活動で功績
稲田団長に藍綬褒章伝達

令和２年秋の褒章で藍綬褒章を受章した、町消防団の稲田幸吉団長への褒章伝達式が町役場で行われました。

稲田団長は昭和49年４月に町消防団に入団し、地元第四分団で活躍した後、昭和61年１月に退団。平成12年12月に再入団後は約18年にわたって副団長等を務め、平成30年11月に団長に就任しました。表彰の伝達は小柴宏幸県中地方振興局長が行いました。

12/24(木)

褒章を受章した稲田団長（左から２人目）

町赤十字奉仕団が募金活動
日赤の町分区へ浄財贈呈

町赤十字奉仕団（渡辺啓子委員長）は、町内の商業施設３か所で行った募金活動で寄せられた浄財15,428円を、日赤福島県支部鏡石町分区（分区長：遠藤栄作町長）に贈呈しました。

今回贈呈された浄財は、町分区からＮＨＫ海外たすけあい募金に送金され、干ばつ被害や紛争、自然災害で被災した地域の支援などに役立てられます。

12/18(金)

目録を手渡す渡辺委員長（左から２人目）

熱いぜ！まちの 火の要人（ひのようじん）

【第９回】

大竹 修平（おおたけ しゅうへい）さん（26）

第２分団（笠石）団員

普段のお仕事：鏡石町役場職員

消防団の活動って実際のところよく分からない、あまり意識したことがないというのが本音でした。入団して現場や火災予防の呼び掛けなど、様々な活動を続けていく中で、その存在の大切さが分かりました。また、様々な年代の方と活動することは、交流を増やす良い機会にもなりました。地域にとっての縁の下の力持ちのような存在でありたいと思っています。

規律訓練

「休め！気をつけ！右へならえ！回れ右！」日本人にはお馴染みの号令で行われる集団行動。消防団では規律保持と迅速で秩序ある行動のために礼式が定められており、定期的に規律の訓練を行っています。心身を鍛え、団結力を高めることが、有事の際の確実で機敏な行動につながります。規律訓練の成果は式典などで披露されますので、機会があればぜひ一度ご覧ください。

町の規律訓練大会の様子。一つ一つの動作が厳しく審査されます

鏡石町消防団に関するお問い合わせは　鏡石町総務課　☎62-2111　E-mail：somu@town.kagamiishi.lg.jp